

81.10.28
盛大に生協祭り
婦人ら趣向凝らす

京都生活協同組合舞鶴支部（吉岡笑子理事、約四千人）は二十六日、市内瀧尻の舞鶴公会堂一帯で、『第二回まいづるせいぎよまつり』を催した。

組合員らが秋の一日を楽しみ、くすくすと同時に、市民に生協の取り組みを知ってもらい、加入を呼びかけるのが狙い。舞鶴支部の十四の運営委員会が、それぞれに趣向を凝らした模擬店を並べた。



食品添加物のテストコーナー

まつりは午前十時半の開会宣言でスタート。この日出席した婦人らは全て手弁当というだけあって、うどん、ヨーヨー、手作り品コーナーなどは全て格安サービス。また、みんなが安全な食品を作ろうと利用しあおう、という生協らしく、食品添加物の簡易テストのやり方を教えるコーナーも登場。海や川を汚染から守ろうと「みずなぎ学園」の園生らが授産事業の一環として製造に取り組んでいる「みずなぎ石けん」も紹介されていた。

公会堂内では親子で歌うコーナーや人形劇なども演じられ、会場一帯は終日にぎわった。

81.11.11
盛大に文化祭

みずなぎ学園

市内鹿原の社会福祉法人みずなぎ学園（藤村友博園長、九十八人）で九日、「未来にははたか確かな翼をもって」をテーマに文化祭が催され、園生らの手作り作品の即売や趣向を凝らした舞台発表が繰り広げられた。

園生の日常生活や作業学習の成果を広く一般の人たちに



音楽クラブが合奏を披露

一も知ってもらおうと開かれて、この文化祭も今年で三回

目。たこ焼き、おでんなどの模擬店コーナーをはじめ、園生が作った縫製品、野菜、粉石けんなどの即売コーナー、自主作品展コーナーなどに加えて、今年には園生活を紹介します。パネル展示と特設ステージでの劇や演奏が行われ、注目を集めた。

ボランティアグループによる歌と演奏では園生らも大いにのって手拍子、足拍子。歌や演劇も張り切って披露し、訪れた人々を楽しませた。

81.11.4
9日に文化祭

みずなぎ学園

未来にははたか確かな翼をもって―をテーマに、ちえおくれの人たちの更生、授産施設「みずなぎ学園」―市内鹿原Ⅱで九日、園生らが日常の作業学習の成果を発表しあう「文化祭」が催される。園生の作品を一堂に集め、互いの作品を鑑賞しあうこと

で仲間意識の向上をはかるとともに、アトラクションなどを通じて園生の現状を広く一般に理解してもらおうのが狙いで、今年で三回目。

園生が日常の作業やクラブ活動で作った作品などを展示する「自主作品展コーナー」、陶芸品、額縁、粉石けん、野菜など、園生の手になる製品の「即売コーナー」など盛りだくさん。時間は午前十時から午後三時まで。当日は送迎バスを運行。問い合わせは同学園（電話六三二五〇三三〇）まで。